

自治会活動の活性化をめざして

深津自治会推進委員会

事業費 81,986 円

助成額 58,000 円

●当初の課題・事業目的

深津町自治会に対して、自治会の必要性に疑問を持つ住民も存在しているが、それを踏まえた上で、地域のコミュニティ活動を模索する。自治会に関心を持ち、自治会の必要性を感じていただけるように、あらゆる方法で、深津町自治会に未加入の住民に対しても深津の状況等を広報し、初めてでも参加してみようと思う企画を考え、新しい住民の参加を促す。参加してくれる会員が「お手伝いしましょうか」と言ってくれる環境づくりを進める。



委員長 和田 健二

●事業概要

従来、コロナの関係で、会館を使ってのイベントは中止してきたが、今年度は会館を使って行うイベントを企画した。

甲南大学の学生と意見交換し、夏休みに「夏休み交流学びの場」を企画し、理科実験「スライム作り」等を実施した。また、「鍋帽子を使う料理の実習講座」を日曜日に開催すると、小学生、保護者、高齢者の参加があり、三世代の参加申し込みがあった。このイベントは今後のやり方の参考にしたい。

ライフスタイルが多様化してきた今、イベントに参加できない住民に対して、LINE WORKS を使った広報を検討した。紙の広報とネットを使った広報について学生と話し合った。



●事業の成果・工夫した点

仕事をしている方に対して、イベントを土曜・日曜に開催することにより、子どもと保護者の参加があった。

保護者と一緒に参加した子どもにも、大人と同じプレゼントを渡すことで、子どもたちが大喜びしていた。

●苦勞した点・今後の課題

一度参加してくれたら何度も参加してくれているので、新しい企画を考え、新しい人の参加を模索する。ライフスタイルが多様化した今、来期は少人数のイベントを企画し、新たな部門「クリエイティ部」で実施しようとする。

役員でなくスタッフという形で実施し、敷居を低くして取り組もうと思う。

●責任者の感想

三年間、「自治会の活性化」を委員長と取り組んできた。まだまだ道半ばだが、新しい役員の参加や新しい会員のイベント参加等、少しずつ目に見える動きもあった。来期は推進委員会と「クリエイティ部」で新たな試みを進めていこうと考えている。